

半田商工会議所青年部会報

ENISHI



創刊号

平成6年2月1日

えにし

縁



平成5年度 臨時総会 H5.12.6 (会員103名中53名出席)

えにし
縁

広辞苑には、「人と人、または人と物事とを結び付ける、不思議な力。」とあります。

青年部活動の目的は、会員各事業所の活性化を目指し、会員自身が自己研鑽を図ることです。その為の異業種交流の場であり、人と人が交じり合うことにより、お互いに慕われ成長して行きます。人生の、また、青年部の究極はそんな人間関係の中での縁(えにし)であると確信致します。

半田商工会議所 青年部

会長への突撃インタビュー

青年部総務広報委員会の板津と川口がカメラマン深谷を共にして東浦右智・青年部会長の店へおじゃまして奥様を交じえてインタビューを行ないました。

Q 青年部のメリットは何だと思いますか？

A まあ資質向上が一番の目的なんだけれど、その手段として青年部というネットワークを使って異業種の交流を図る事ですわね。

Q 会長が青年部に入ったきっかけは何ですか？

A どうせ一緒に酒を飲むなら、いつも同じ人じゃなくて年上の人の話に交じり、いい話が聞ければ一石二鳥だと思ったからです。

Q 現在の青年部の雰囲気はどんな感じだと思いますか？

A 今までの青年部というのは上下関係がしっかりできていて、いつも同じメンバーでマンネリ化していたけれど、今は年齢層も中広くなり発想もいろいろで、これからが面白くなって来るんじゃないかなあ。

Q 青年部の楽しみ方って？

A いろんな人と、いろんな話して自分の人生観を楽しくできるような楽しみ方をしてほしいなあ。

Q 懇親会をどう思われますか。

A 研修会で机に向かって前を見ているだけでは、みんなの交流がないから意味がないね。だから懇親会に出て異業種の交流をしてほしいね。最近の懇親会のもり上がりがとても良く、これはすごい。

Q 会長を務めた感想を？

A 商工会議所100周年で青年部会員を100人にするという目標を達成した時、肩の荷が「ガクッ」となったけれど、100周年式典の時に青年部として手伝いが出来、親会である商工会議所の方から「青年部があったからこそここまで出来た。」と感謝の言葉を頂いて会長としてとてもうれしかった。自分で目標を持っていれば大変な事はないですね。だからこの3年間会長を務めてとても満足しています。

Q これからの青年部はどうあるべきだと思いますか？



奥様にインタビューしました。

Q 御主人が家にいなくて淋しくないですか？

A 基本的に家にいないというのに慣らされてますね。うちの主人はスケジュールがいつも詰まっていなくて自分が満足できないという現代病だと諦めています。少なくとも家庭は犠牲にしません。家にいる時はいい主人で優しいお父さんです。

A 青年部の出席率

50%を70~80%にしたいですね。

赤字で税金が払えない人も青年部に入って研修会に出席してもらい、商売で利益を出して、税金を払う事によって社会に貢献できる人間を作る組織であってほしいですね。



49
20
21
28
2015/5/7

会議所青年部とは



副会長

天草明臣

が集まればできてしまうすばらしい体験学習、

「会議所青年部」それは参加すればするほど自分の力になる会だと思えます。役員はもちろん、会員の万も研修会だけでなく各委員会の役割に積極的に参加する事により、一人ではできない事業、イベントなどいろいろな人、業種

友人関係ができる場です。そして各自がこの関係をどんどん利用して情報収集したり、企業アピールをすれば、こんなお値打ちな会はないと思えます。

今期、東浦会長のリーダーシップと役員の方により青年部の基礎ができたと思えます。会員全員が毎月の研修会、懇親会が待ち遠しい、そんな会になるのもあと一歩、この出合いをむだにせず、いっしょにこの会を盛り上げて行きましょう。

青年部ってなんだ



副会長

松石 幸之

半田商工会議所青年部ってなんだやという質問にお答えしたいと思います。会員募集のお題目は、さておきまして、真実の中身を暴露いたします……。

①なんと平成6年に30周年を迎える歴史ある若手経営者（予備軍含む）集団である。

②最近とくに元気が良い、半田市内の青年団体である。

元気の源は……。

- ・景気が悪いので暗中模索、必死である。（決してやぶれがぶれではない）
- ・会長がわがままである。
- ・新入会員が多いので（会員の50%が入会1年以内）ノリが良い。

・半田商工会議所100周年で弾みがついた。etc……

③まじめに勉強会をおこなっている。

- ・経営に関わるもの（財務、労務等）
 - ・自己啓発に関するもの
 - ・地域活性化に関わるもの等々
- ④もちろん遊びがとっても好きだ。
- ・会員相互の親睦をしっかりとこころ。
 - 異業種交流の損失場である。
 - ・ちよっと一味違う親睦会が楽しい。（着がめめない会員は、よく食べる）

全全国商工会議所青年部連合会というすごい組織とのパイプもある。

- ・全国のおもしろい人といっばい出合えるチャンスもある。

◎地域活性化事業を積極的におこなっている。

- ・ほんだ市民まつりや産業と物産展など悪いイベントで成功が良い。 などなどいろいろありますが……。

半田の商工業の発展＝地域社会の発展を目指し青年らしい行動力で事業に取り組んで参りたいと思えます。

マルチ人間のすすめ



監事

大橋光延

「人は強くなければ生きて行けない。しかし、強くなれば生きて行く意味がない。功を成す人はおおむねいわゆる盛人である。何かがすぐれていると、必ず何か大きく欠けている場合がほとんどである。皆さんも何でも手を出し、いろんな所へ行き、幅広い人生を楽しんでほしいと思う。青年部では、その意味ではむづかしく考えずに、精一杯時間をつくって参加していれば、すばらしい何かが見えてくるはずで

一言 !!



監事

山田康肥児

卒業まであと一年半を残して一言、青年部の活動を通して色々な人との出合いがあり、多くの事を勉強させていただきました。そうした中で私にとって、とても良かった事は仕事の話しもさる事ながら、仕事以外の事を心から話せる人、人間関係ができた事です。卒業するにあたって、そんなステキな人間関係を皆さんにも作って欲しいと思えますと同時に、卒業後も私達が何かの形でこの会に参加できる機会を作っていただきたいと思えます。

第一研修 委員会



委員長
中川 忠明

会員資質向上の為の研修開催、体験学習を始め各種の実習を中心とした参加型の研修を開催し、会員個人としての資質を高めていく。5月度『心とからだの健康づくり運動』講師/岸田医師会ヘルスケアトレーナー竹内 哲 氏・7月度『裡から学ぶ経営哲学』講師/善住京普濟寺住職伊藤義嗣氏・10月度公開研修会『人生何をなすべきか』講師/鳥羽水族館館長中村幸紀氏(鳥羽西工会議所会頭)・11月度『フインから学ぶふしきたりの心』講師/シニアフインアドバイザー天川 均 氏・2月度『不況下に於ける財建戦略』講師/公認会計士近藤敏通氏、各月定例研修会メンバー出席目標半数、公開研修目標200名、人員動員常に出席数が増えました。講師の選定及びテーマが動員のキーワードでした。



会議所創立100周年に花を添え、「青年部の存在を広くアピールし、カフメンバー全員で取り組める事業を」との方針のもと当委員会では昨年クリスマス夜「突然サンタクロス93」を開催しました。100歳以上にメンバー 招待するサンタが突然訪問するこの事業は、子供達のみならず参加したメンバーにも多くの感動と素敵な思い出を残せたと思います。ご協力をいただいた方々ありがとうございました。

100周年 委員会



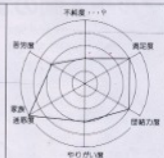
委員長
小藤 省吾

会員交流 委員会



委員長
森下 国高

私共会員交流委員会、この一年を通して下記の懇親会、交流会等を開催してきました。(平成6年1月現在)
4月 新入会員3分間スピーチ
5月 委員会対抗体力測定大会
6月 委員会対抗クイズ大会
7月 突撃インタビュー・家族会(バーベキュー)
8月 委員会対抗クイズ大会
9月 委員会対抗焼きそば大会
10月 古事東西ハットボンパレオン
11月 みんなで仲良くLUNBALANCEゲーム
12月 休憩(サンタクロスにお任せ)
1月 休憩(高校生年度と合同懇親会がやりだした)
2月 委員会対抗クイズで健康診断※予定
3月 未定 スポーツ交流会(グラウンドゴルフ)※予定
さて、あなたは何回出席したかな? 研修会後の疲れも忘れず、在田多くのメンバーが懇親会に参加して下さり、感謝、感謝。そして委員会のメンバーも、我々のアイディア・パフォーマンスで盛り上げて頂き感謝、感謝。引き続き次年度の委員長、頑張って下さい、楽しみにしています。



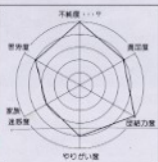
第二研修委員会



委員長
酒井 宏造

我々第二研修委員会のテーマは、限られた研修費の中で、いかに質が高く、多くの会員に喜んでもらえる講座を招くことが出来るかという事でしたが、乏しい人脈の中からの選択だったので、結算委員会メンバーの趣味にはしてしまい、皆様に満足してもらえる研修会が開けなかったのでは。やはり会員のニーズに合ったタイムリーな研修会を開くには、日頃より情報収集に努めて、スローガンにもあるように、「明日のために」自己研鑽しなければと反省しております。活動は地味な委員会ですが、実りある青年部活動にするために、少しでも貢献出来たのではと思います。

最後にメンバーの皆さんご苦労様でした。



総務広報委員会は、総会・臨時総会の運営、青年部会員の拡大、広報誌の発行が主な事業内容であります。

特に会員拡大は、会籍所創立100周年の今年に100名を超えるメンバーに参加して頂ける事と成りました。又、広報紙も創刊号を発行する事ができました。

毎月の委員会には、いつも出席率70%を超えるメンバーの方に参加していただき、

本業では経験出来ない有意義な活動が1年間出来たと思っています。

委員会メンバーの方々、ご苦労様でした。

総務広報委員会



委員長
井上 秀夫

事業委員会



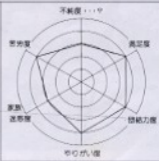
委員長
神原 唯旨

事業委員会では、「はんだ市民まつり」と「はんだの産業と物産展」の2事業を行いました。

はんだ市民まつりでは、遊びの広場を開催し、たくさんの子供たちに楽しんでもらうことができました。準備段階の中ごろに一泊で委員会を行い、みんなの準備が深まり非常によかったと思います。

まつり当日は、参加者全員が遊びの広場

を楽しむことができました。又、はんだの産業と物産展では、会員みんなの協力により、バザーの品物がたくさん集まり大盛況のチャリティバザーを開くことができました。ポップコーン無料配布やアレンジフラワー製作もみなさんの協力で成功することができました。



私たちこんな事

平成5年度の活動及び年間行事

- 4月5日 通常総会
22日 4月度研修会
- 5月20日 5月度研修会
- 6月17日 6月度研修会
- 7月4日 家族交流会
15日 7月度研修会
- 8月19日 8月度研修会
21・22日 第5回はんだ市民まつり参加
- 9月16日 9月度研修会
18日 会議所百周年記念式典
- 10月9日 東海ブロック恵那大会
28日 公開研修会
30・31日 はんだの産業と物産展
- 11月12・13日 視察研修会(全国大会・津)
25日 11月度研修会
- 12月6日 臨時総会
25日 100周年事業
「突然サンタクロース」
- 1月21日 武生青年部との合同研修会



▲平成5年度通常総会 H5.4.5

半田商工会議所大会議室にて、4月5日、平成5年度通常総会を開催。会長挨拶にはじまり、議長選出、平成5年度収支予算の承認、平成5年度事業計画・組織並びに委員会配属が決定した。



▲家族交流会 H5.7.4

7月4日、名古屋市武豊野外活動センターにて、家族交流会が行われ、昼食にはバーベキューを用意し、その後、イスとりゲーム、パン食い競争などをして、大いに楽しみ、メンバーはもちろん、他の家族とも懇親を深めた。



▲7月度研修会 H5.7.15

7月度の研修会は、栗原市の普濟寺にて『禅から学ぶ経営哲学』と題し、講師として、曹洞宗普濟寺住職・伊藤繁羅氏を招き、受講後、参加メンバー全員が坐禅を体験した。



▲第5回はんだ市民まつり H5.8.21-22

8月21・22日の両日、第5回はんだ市民まつりに青年部として参加。JR半田駅隣精華事業団跡地にて、フアフアゴリラやその他のいろいろなゲームを催し、あそびの広場として協力した。



▲第21回はんだの産業と物産展 H5.10.30-31

10月30・31日の両日、半田市民ホールにて、第21回はんだの産業と物産展が開催。青年部として来場者に、ポップコーンプレゼントや「チャリティー」バザールなどを催し、協力した。



▲公開研修会 H5.10.28

10月版の研修会は、半田勤労福祉会館にて、本年度の公開研修会とし、麻羽水族館館長中村幸昭氏を講師に迎えて、「人生何をすべきか」をテーマにてご講演をいただき、200余名の一般参加者と共に受講した。



▲突然サンタクロース'93 H5.12.25

本年半田商工会議所は、創立100周年を迎え、青年部では、この記念協賛事業として、12月25日夜、半田市内の100家庭へ、メンバー扮するサンタクロースが素敵なプレゼントを持って訪問する「突然サンタクロース'93」を実施した。

今年も一年
がんばります。

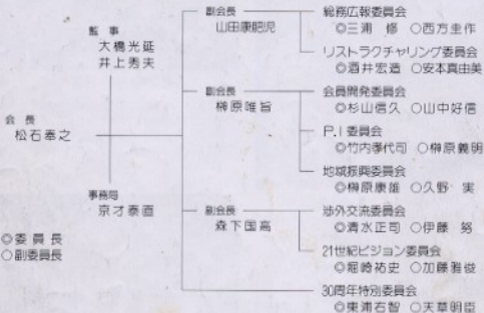
次年度会長挨拶 松石 奉之

平成6年度は、記念すべき青年部設立30周年を迎えます。先輩諸氏が築いてこられた伝統と歴史に敬意を表し、半田商工会議所はもとより

青年部活動を応援して下さる多くの方々に感謝を申し上げます。

青年部での活動が、会員個々の事業の発展に寄与し、その結果が、地域社会の繁栄につながることを青年部活動の指針にしたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

平成6年度半田商工会議所青年部組織



新入会員募集

私たち青年部は新しい力を求めています。

- ◆ 20歳～45歳までの男・女（特に女性会員歓迎します）
- ◆ 自己啓発に又地域振興の場として最適です。

詳しいお問合わせは ●事務局（京才まで）TEL21-0311

編集後記

委員会全メンバーが、広報誌について全くの素人で、何をどのようにしたら良いのか分からずバタバタしましたが、徐々に落ち着き、なんとか創刊号を発行することができました。余裕をもって出発したつもりでしたが、最後には、青年部の皆様にも、「至急」と

いう言葉の連発で、大家ご迷惑をお掛けしました。そんな1年でしたが、メンバー全員が、よく委員会に出発して、広報誌の出来よりも、委員会メンバーの交流の出来の方が、良いという声もありました。広報誌も印を重ねるごとに、より良い内容に成る事と想います。

半田商工会議所 青年部会報 ENISHI 創刊号 平成6年2月1日 発行

- 編集・発行 半田商工会議所青年部 総務広報委員会
〒475 半田市銀座本町1-1-1 TEL(0566)21-0311 FAX(0566)23-4181
- 印刷 森 森オールインワン 佐野